

1年を振り返って

2年5組 村山

今年の始まりは、例年とは大きく異なりました。新型コロナウイルスの影響で休校。その後、分散登校を経て、5組全員がそろってのスタートは6月からとなりました。さらに、20キロハイク、宿泊体験学習、職場体験、体育祭、音楽会など、楽しみにしていた様々な行事が中止、もしくは規模を縮小しての実施となってしまいました。“中止”や“延期”という言葉聞く度に、みんなの表情は曇りました。しかし、そんな中、新たな取り組みも生まれました。それは、『動画プロジェクト』や『kamichUダンスプロジェクト』です。これまでやったことのない新しい取り組みを準備することはとても大変でしたが、その何倍もみんなで作り上げていく日々はワクワクしました。今まで当たり前だった、毎日授業を受けること、クラスの仲間と一緒に行事に燃えること、思いっきり部活動をやるのが、どれほど恵まれたことなのか気づかされました。

3学期も、延期となっていた学年合唱発表会が中止、部活動もできず、制限された学校生活は続きました。

そこで私は、行事と同じようにできないのではなく、できることに目を向けていこうと考えました。3学期の定期テストは期末の1回だけであること、2月に実力テストも実施されることもあり、勉強に力を入れることにしました。しかし、初めのうちはやる気にならず「明日でいいや。」と先延ばしにしてしまい、周りがどんどんテスト勉強をはじめていくことに自分自身とても焦っていました。結局、実力テストは1週間前に急いでやったため、良い結果が得られず悔しい思いをしました。そして、また同じ失敗を繰り返してはいけないと思い、期末テストは2週間前から計画的に勉強を始めました。家庭学習はもちろん、先生方が「授業が一番大事」と言っていたので、いつも以上に授業を真剣に取り組みました。テストは今まで一番落ち着いて解くことができ、結果も納得のいくものとなりました。

私達2年生は、4月には3年生となり、中学校生活最後、受験生としての1年がスタートします。最後の1年を悔いなく終われるように、何ごとも計画的に取り組んでいこうと思います。学習に集中することは言うまでもなく、引退までの残りの部活動にも全力を注ぎます。また、何より一つ一つが最後となる学校行事にも、上柴中の最高学年として後輩たちを引っばっていけるよう、学年全員で力を合わせて乗り越えていきたいです。

来年1年も今年と同じように、いえ、今年以上の最高の1年にします！